

第5回 子吉川圏域流域治水協議会 現地視察 概要

- 日時：令和3年11月1日（月）13：30～16：00
- 場所：鳥海ダム建設現場及び紫水館（由利本荘市鳥海町）
- 議事：
 - (1) 鳥海ダム建設現場視察
 - 転流工（仮排水トンネル・仮締切）建設状況
 - (2) 意見交換
 - (3) 情報提供
 - ①流域治水対策等の主な支援事業について
 - ②流域治水プロジェクトグリーンインフラについて
 - ③ダム洪水調節機能協議会の設立について
 - ④次回以降の現場視察について



▲現場視察状況
（鳥海ダム建設現場）



▲協議会状況（意見交換）

■議事概要（意見交換）

【主な意見・コメント】

◎ダムだけでなく、道路、トンネル、橋など総合的な工事が行われ、アミューズメントパークみたいな感じである。インフラツーリズムなどで、多くの方に見学に来て頂いて、交流人口の増加や、地域振興などに活用して頂きたい。

7月に由利本荘市で記録的な豪雨があった。避難指示を出すのが、なかなか行動に移してもらえない市民もいて、ハード対策だけでなく、ソフト施策もしっかりと取り組んで行かなければならないと感じた。（由利本荘市）

◎大きなダム建設現場を見学できたことは、大変感慨深い思いである。ダムの付替道路については、林道に通じるところもあり、今後も協議、情報提供をお願いする。国においては、木使い運動を行っており、公共事業でも木材部材（CLT）や木材内装材を検討して欲しい。（由利森林管理署）

◎鳥海ダムは本体工事に入る前の準備工事をしており、子吉川を本体工事の場所から、仮排水トンネルで流路を切り替える工事を行っている。遮水壁は、玉石が多く難儀したが、予定どおり完工するのではないかと考えており、仮排水トンネルについては、来年の今頃には、姿が見えてくるのではないかと思う。（鳥海ダム工事事務所）

◎今年度の子吉川では大きな出水はなく、7月の降雨が最高水位で、人的な被害等は発生していない。本荘市街地では、総雨量250mmを超えており、この雨が子吉川上流域で降った場合には、いつ大きな出水が起きてもおかしくない気象状況になってきている。

現在、河道掘削工事を進めているが、森林や水田などの流域での水をためる対策や、命を守るための避難態勢の強化など、関係機関と連携して流域治水を進めていきたい。（秋田河川国道事務所）

■出席者

由利本荘市長
にかほ市長（代理：総務部 防災課長）
東北農政局 西奥羽土地改良調査管理事務所長 （代理：企画課 企画係長）
東北森林管理局 由利森林管理署長
秋田地方気象台長（代理：次長）
秋田県 総務部 危機管理監（代理：政策監）
秋田県 建設部長（代理：流域防災監）
東北地方整備局 鳥海ダム工事事務所長
東北地方整備局 秋田河川国道事務所長